

第8回「働く人の電話相談室」結果報告

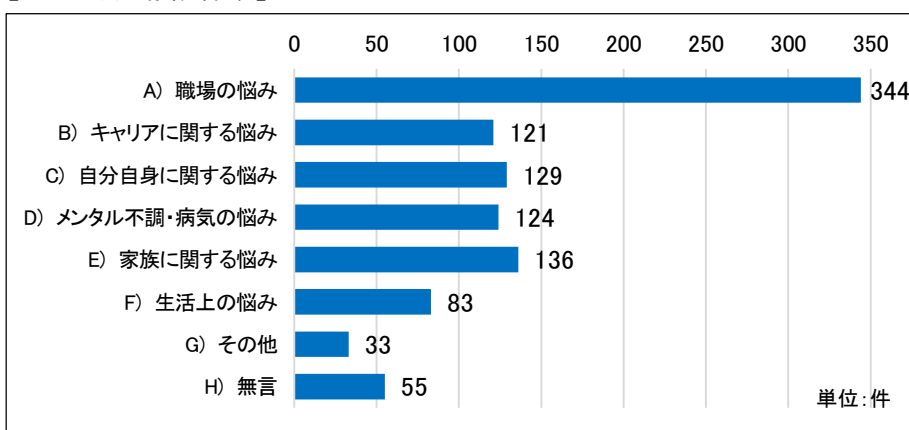
職場で悩む女性は男性の**2倍以上**、悩みの3割は「**同僚**」、「**上司**」との人間関係！  
非正規社員(女性)の悩みは「人間関係」の次に「**労働条件・待遇**」

一般社団法人日本産業カウンセラー協会（代表理事：河野慶三）では、「世界自殺予防デー（9月10日）」にあわせて、「働く人の電話相談室」を開設し、この度、期間内にのべ628人の方から受け付けた計1025件の相談内容について、集計をまとめましたのでご報告いたします。（※相談者からの主訴を最大3つまで選択する方式として集計しました。）

今回、全国から受け付けた相談結果の大きな特徴は、1025件のうち約6割にあたる630件が女性からの相談となりました。（P4参照）

相談内容で最も多かったのが、『職場の悩み』についての相談で、男女合計で344件、全体の約35%となりました。さらに、『職場の悩み』の中でも「人間関係」について悩んでいる人は344件中136件で『職場の悩み』の約4割を占めています。（P3及び別添「相談内容集計表」P2参照）

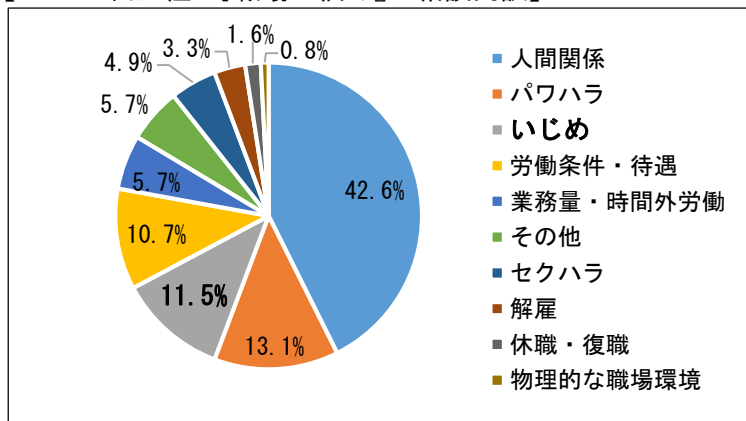
【カテゴリ別相談件数】



また、30～40代の働き盛りの世代に絞って、相談内訳を見てみると、『職場の悩み』のうち「パワハラ」に関する相談が176件中14.8%の26件で、「人間関係」（38.6%）に次いで多い結果となりました。

さらに、30～40代の女性からの『職場の悩み』の相談内容を詳しく見ると、「いじめ」が122件中11.5%の14件と多く、「人間関係」（女性の割合42.6%）の悩みと深くリンクしている状況が推察できました。（P5及び別添「相談内容集計表」P9参照）

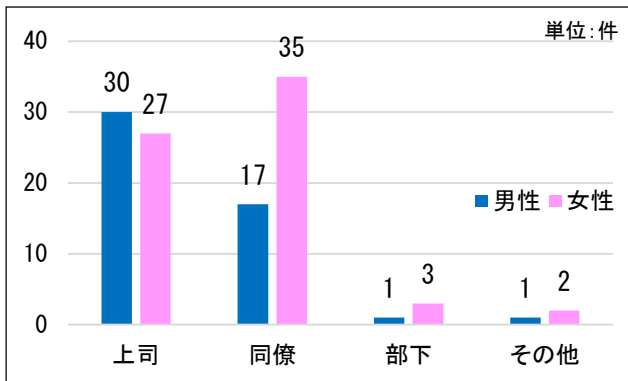
【30～40代女性の『職場の悩み』の相談内訳】



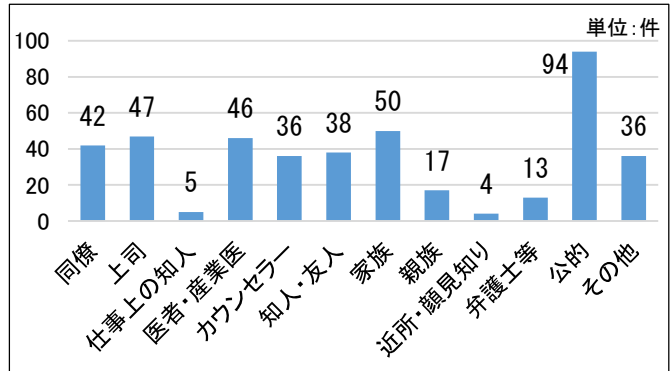
「人間関係」についての項目を掘り下げてみると、男性の場合は「上司」との関係に悩んでいる人が49件中61.2%の30件と多く、一方、女性の場合は、67件の相談のうち「上司（40.3%）」よりも「同僚（52.2%）」との関係に悩んでいる人が多いことがわかりました。また、男女ともに「上司」との

関係で悩んでいる相談者が多いという反面、抱えている悩みを相談する相手としても、「上司」と回答する人が428件中11.0%の47件と、家族に次いで多くなっているという興味深い結果が出ています。  
(下図及び別添「相談内容集計表」P3及び4参照)

【職場の人間関係における悩みの対象者】



【悩みを相談する相手】



相談者を雇用形態別に見てみると、正規社員（男女合計）からの相談が135人で23.6%（昨年：23.6%）で、非正規社員（男女合計）から146人で25.5%（昨年：21.4%）、現在無職の方からは116人で20.2%（昨年：25.3%）となっており、ほぼ昨年と同様の相談件数の割合となりますが、相談者の雇用形態別内訳は非正規社員（女性）からの相談が184件と最も多い結果が出ています。

非正規社員の内、184人と最も数の多い女性からの相談内容に焦点を当て分析してみると、『職場の悩み』の中で、「労働条件・待遇」の相談が104件中17件（16.3%）と「人間関係」に次いで数が多く、他（非正規女性以外）の相談者からの相談内容との違いが見て取れます。

また、非正規社員全体（男女合計）からの相談内訳を正規社員（男女合計）と比較すると、「就職・転職・退職」（正規社員比：164%）、「労働条件・待遇」（正規社員比：200%）に関する相談の比率が、正規社員より高くなっています。（P3、P6及び別添「相談内容集計表」P5～6参照）

今年度の「働く人の電話相談室」では、過去7回実施した中で、特に相談割合の多い『職場の悩み』に関して、対象となる人の性別・属性と相談者との関係性を相談者から聞き取りデータにまとめました。

※第8回「働く人の電話相談室」結果報告における相談内容等の集計データ詳細についてはP3以降の

【参考資料】及び別添の「相談内容集計表」をご参照ください。

【2014年度「働く人の電話相談室」実施概要】

◇実施日	2014年9月10日(水)～9月12日(金) 午前10時～午後10時
◇実施場所	一般社団法人 日本産業カウンセラー協会の各支部
◇実施方法	フリーダイヤルによる電話受付
◇集計総数	のべ628名、1025件
◇集計方法	相談内容をA～Hまで、8つのカテゴリに分類し、それぞれのカテゴリ内に最大10個の項目を設定し、相談者からの主訴を1つから最大3つまで選択する方式として集計した。 また、カテゴリA「職場の悩み」のうち、①職場の人間関係、②セクハラ、③パワハラ、④いじめの4項目については、悩みの対象が誰なのか「1 男性」「2 女性」、相談者との関係性「1 上司」「2 部下」「3 同僚」「4 非正規従業員」「5 役員」「6 顧客・取引先」に細分化し、項目の選択から悩みの内容が類推できるように変更を加えた。

<本リリースの掲載・内容に関するお問い合わせ>

一般社団法人日本産業カウンセラー協会 広報部 紺野

〒105-0004 東京都港区新橋 6-17-17 御成門センタービル 6階

TEL:03-3438-4568 FAX:03-3438-4487 e-mail:kouhou@counselor.or.jp

## 【参考資料】

### 1. 分野別相談件数の割合

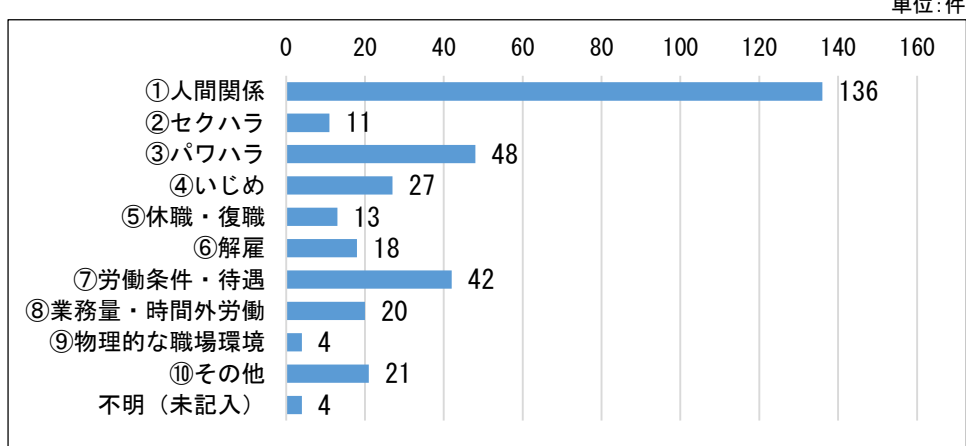
今年度の相談者ひとりあたりの主訴平均は 1.6 件となった。

分野別では、カテゴリA「職場の悩み」が344件で、他のカテゴリを大幅に引き離して最も多かった。

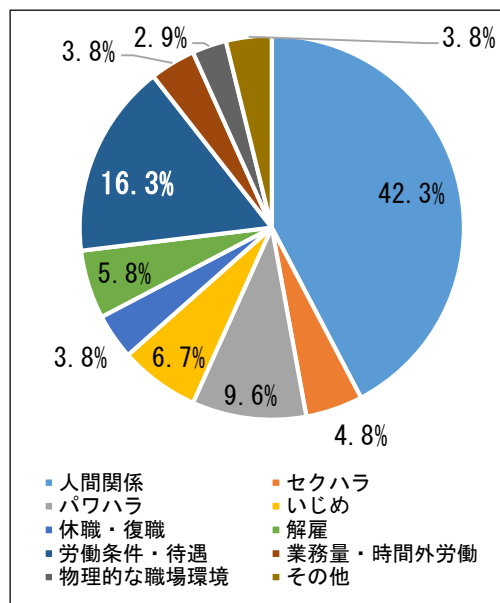
また、カテゴリB、C、D、Eは、それぞれほぼ同数程度の比率となった。

カテゴリA～Eの相談件数が合計854件となっており、全体の約85%を占めた。その多くの問題に「職場」が関わっていることが分かった。

#### 【カテゴリA『職場の悩み』の内訳】

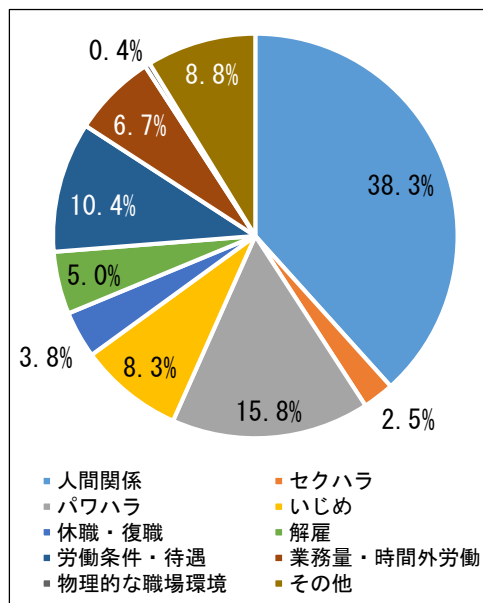


#### 【非正規社員（女性）からの『職場の悩み』】



#### 【『職場の悩み』相談内訳】

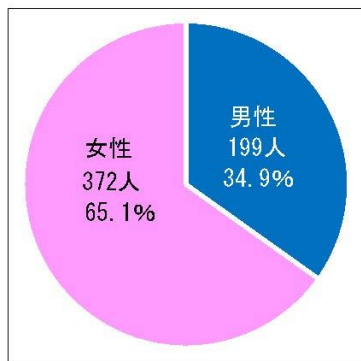
非正規社員（女性）を除く



## 2. 相談者の男女比

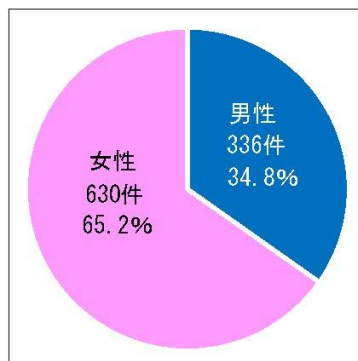
相談者の男女比は男性199人(34.9%)、女性372人(65.1%)で、女性のほうが約2倍、30.2ポイント多かった。また、相談件数における男女比も上記とほぼ同様で、男性336件(34.8%)、女性630件(65.2%)となり、女性のほうが30.4ポイント多いという結果となった。

【相談者の男女別比率】



※性別不明、無言電話を除く

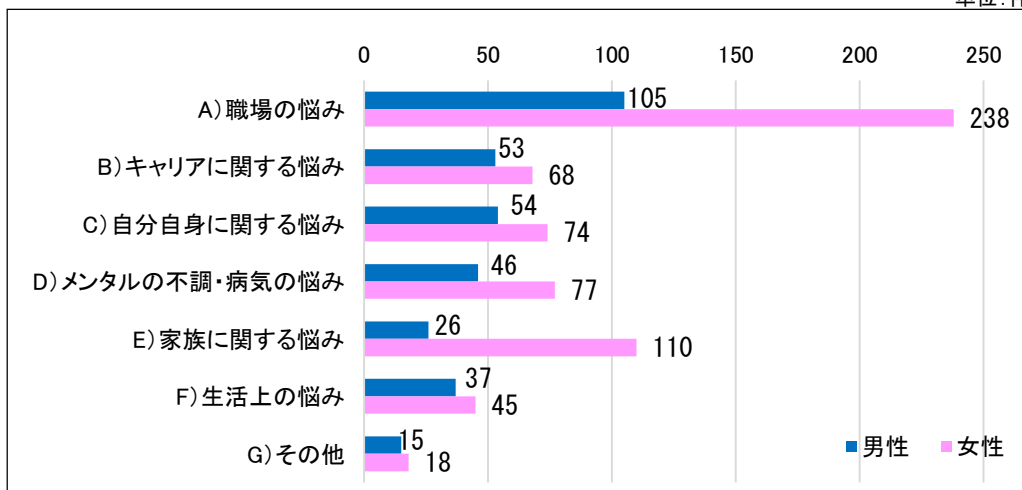
【相談件数の男女別比率】



※性別不明、無言電話を除く

【男女別の相談件数】

単位:件



※性別不明、無言電話を除く

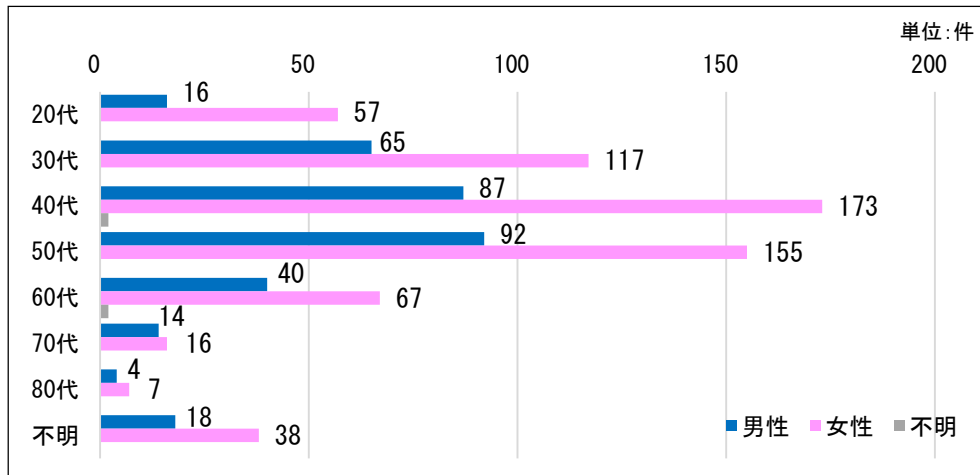
### 3. 年代別相談件数

例年同様、最も相談が多かったのは働き盛りの40代で153人。次いで50代からの相談が146人となり、40代と50代で全体の半数近く(299人、47.6%)を占めた。

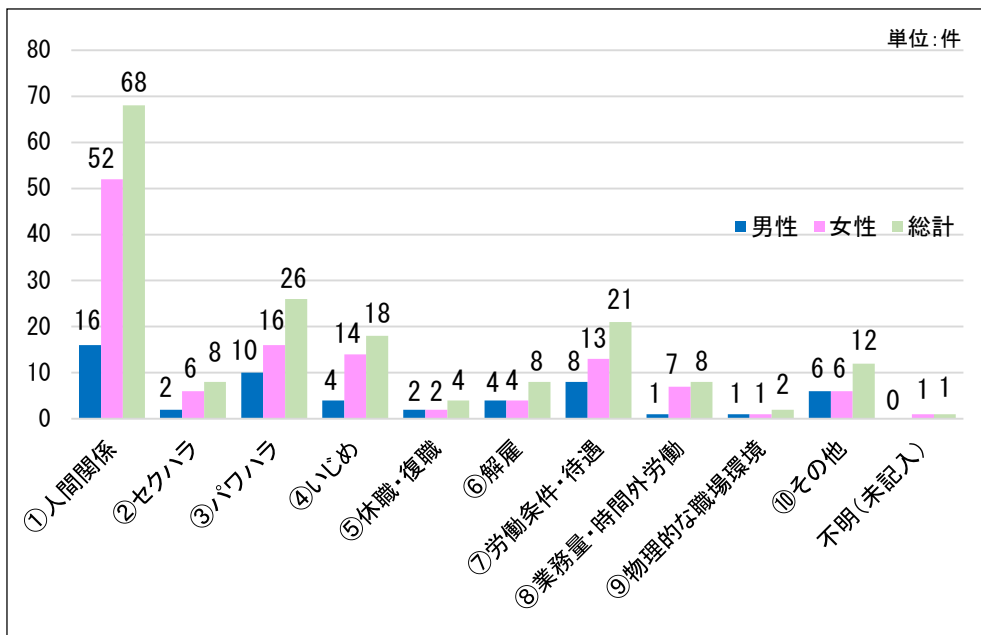
女性からの相談件数が多かった年代は、40代(173件)、50代(155件)、30代(117件)の順となっている。働き世代でもある上記年齢層の中で、30代、40代の女性からは『職場の悩み』として「いじめ」の相談が14件あり、相談者全体で27件のうち51.9%を占める結果となった。

また、各年代において、全カテゴリーで女性からの相談件数が男性を上回っている。

【相談者の年齢別・男女別件数】



【30代・40代の相談者からの『職場の悩み』における相談内容】



### 4. 過去の相談実績の有無と相談先

今回の相談ごとに関して、以前に相談をしてみたことがあるかとの質問に、昨年同様、半数の308人(53.8%)が「ある」と答えた。(無言電話を除く)

相談先としては、公的窓口への相談が最多で94件(22.0%)、家族への相談は50件(11.7%)、医者や産業医への相談は46件(10.7%)などとなっている。

また、上司からのパワハラに悩んでいるという相談がある一方で、相談をする際の相談相手は上司(47件、11.0%)であるという、少々複雑な関係も見取ることができる。

## 5. 相談者の雇用形態

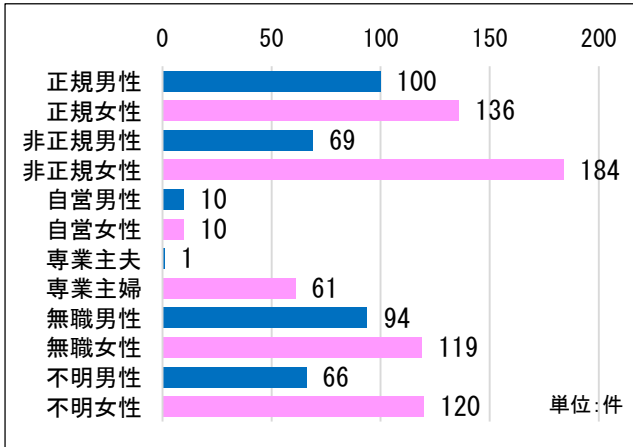
最も多く相談が寄せられたのは、非正規社員(男女合計)からで146人(25.5%)で、そのうち、パート・アルバイトとして働く方からの相談が70人で半数以上(55.6%)を占めた。正規社員(男女合計)からの相談は、やや少なく135人(23.6%)となった。

正規社員(男女)と非正規社員(男女)からの相談件数としては、大きな差を見つけることはできないが、相談者の内訳をみてみると非正規社員(女性)からの相談が184件と最も多いという結果が出ている。

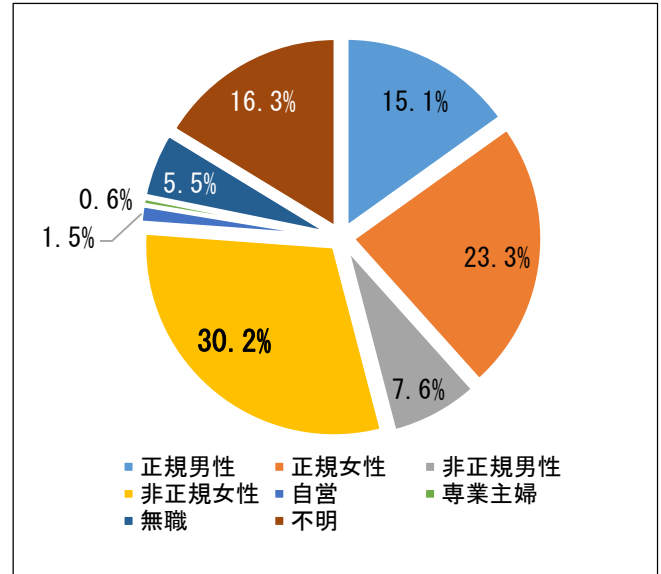
非正規社員(女性)からの相談内容としては、『職場の悩み』の中で「人間関係」に次いで、「労働条件・待遇」の相談が多く、他の相談者からの相談内容との違いが見て取れる。

例年、もっとも相談件数が多い「無職」の方からの相談は、116人(20.2%)となった。

【雇用形態別 相談件数】



【『職場の悩み』相談者の雇用形態別相談割合】



また、非正規社員(男女合計)だけを対象としてみた場合でも、「労働条件・待遇」の項目に関しては、相談件数全体の中でその割合が、正規社員(男女合計)とは異なっており、賃金をはじめとする労働条件への不満などを抱え、悩んでいる様子が見える。

【雇用形態別にみる「職場の悩み」の相談内訳】

